ときの玉手箱 ～博物館からのメッセージ～

第181回

彦根藩士高野瀬家と肥田の歴史

「彦根藩井伊家文書」（重要文化財）には、彦根藩士の略歴をまとめた「貞享異譜」と呼ばれる資料が現存し、家ごとに出自や歴代当主の名前、勤めた役職などが記されています。今回は高野瀬喜太郎家の記述をもとに、肥田（肥田町）の戦国時代から江戸時代への移り変わりについて考えていきます。

「貞享異譜」では、高野瀬家の出自を、「先祖筋は江州愛知郡肥田の城主高野瀬備前守隆重の子孫にて、同郡肥田村崇徳寺過去帳に委しくこれあり」と記します。つまり高野瀬家は肥田周辺を支配した肥田城主高野瀬家の末裔だというのです。

高野瀬家は、もとは高野瀬村（現在の豊郷町）を拠点とし、鎌倉時代の隆重の代に肥田城を築き、代々肥田を支配しました。しかし、戦国末期の天正2年（1574）、織田信長に仕えた城主高野瀬秀隆と息子隆景が、越前安居（現在の福井県福井市）の戦いで自害し、信長の家臣蜂屋頼隆、ついで羽柴秀吉の家臣長谷川秀一が肥田城主になりました。

当時の肥田城の様子について、「丹波屋敷」など現在も残る字名から、城周辺に城主一族と家臣の屋敷があったと考えられます。また、明治時代に作成された「地券取調総絵図」からは、肥田の集落の町並みは、南北2筋、東西1筋の直線道路に沿った短冊型の屋敷地割であることがわかります。これは、信長や秀吉の家臣が城下を整備した際の特徴で、肥田城とその城下が戦国末期に整備されたことがうかがえます。

その後の高野瀬家について、崇徳寺（肥田町）に現存する高野瀬家の系図には、隆景には息子隆定がおり、肥田村に潜んだとあります。同じく崇徳寺に現存し、貞享異譜にも記された同寺の過去帳によると、江戸時代にも同村に高野瀬（過去帳では「高瀬」）姓の人物がいました。貞享異譜に記された彦根藩士高野瀬家の人物は系図や過去帳には記されませんが、高野瀬一族は絶えたわけではなく、貞享異譜に記されるとおり、一族の中から彦根藩に召し抱えられた者がいた可能性は高いと思われます。

一方、その後の肥田城は、長谷川秀一死後に廃城となり、江戸時代に城跡は開墾されて新田となりました。肥田の城と城下は農村集落へと大きくその姿を変えたのです。

戦国時代、全国に無数の城が築かれましたが、信長や秀吉、徳川家康が天下統一を進める中で、多くの城が姿を消しました。統一政権は諸大名の城下に家臣を住まわせて軍事力を集中させ、村には武士を置かない政策をとり、旧城にいた武士は仕官先を求めて諸大名の城下に移るか、帰農するかを迫られました。ここに、武士が城下町に住み、村には農民などの領民が暮らすという、いわゆる兵農分離制が確立しました。これは江戸時代の社会の大きな特徴で、肥田でも高野瀬一族が同様の選択を迫られたと考えられます。

肥田城主高野瀬一族が、肥田を離れ彦根藩士となった歴史は、戦国時代から江戸時代へと時代が移り、肥田の城と城下が肥田村へと大きく姿を変えた歴史と表裏一体のものとみることができるのです。

（彦根城博物館学芸員　藤尾隆志）

▶貞享異譜（高野瀬喜太郎家箇所。五行目に「肥田の城主」という記載が見える）【重要文化財「彦根藩井伊家文書」彦根城博物館蔵】

写真の作品は、シリーズ戦国 巻の5「肥田の古墳・城・村―大地に刻まれた記憶―」で9月2日㈮～同27日㈫（期間中無休）まで展示します。

施設だより

ひこね市文化プラザ

☎26-8601 FAX 26-8602
9月の休館日:5㈪、12㈪、20㈫、26㈪

★ ★ ★　注目のイベント　★★ ★

10月9日㈰　17:30～　グランドホール
劇団四季「夢から醒めた夢」
―夢の配達人があなたに「夢」をお届けします―
大人気の劇団四季の公演が今年も文化プラザにやってきます。ピコとマコ、2人の少女が出会う夢の物語をどうぞお楽しみに!
指定　S席8,000円、A席6,000円、B席4,000円、C席2,000円

11月2日㈬　19:00～　エコーホール
金亀亭第9回落語ライブ
「柳家喬太郎・古今亭菊之丞　二人会」
金亀亭2回目の登場となる柳家喬太郎と、噺（はなし）の巧さが際立つ若手の注目株古今亭菊之丞による二人会。「粋」で「いなせ」な二人による、渾身（こんしん）の落語をご期待ください!
指定　一般3,500円、SP価格2,000円

9月からの催し物

9月11日㈰　14:30～　グランドホール
「NHK公開番組 みんな DE どーもくん!」
※募集は終了しました。

9月16日㈮　19:00～　エコーホール
ワールド・ミュージック・トリップVol.3
フレンチ・カフェミュージック
「ル・バルーシュ with かとうかなこ」
指定　一般3,900円、WMT会員価格3,300円、SP価格2,000円

9月24日㈯　14:00～　グランドホール
OEK♪ひこね　Cool Japan Concert　episode.2
井上道義&OEK with 辻井伸行
※ご好評につき完売しました。

9月29日㈭、10月13日㈭、27日㈭　19:00～　メッセホール
ひこね市民大学講座2011　歴史手習塾セミナー9
「江戸庶民の愉しみ　おもしろ講座」
―江戸のユーモアと粋を学ぶ―
指定　一般3,000円、SP価格1,800円（3講座分）

最新発売情報

10月14日㈮　19:00～　グランドホール2階ロビー
ワールド・ミュージック・トリップ特別企画ロビーコンサート
「ヨーラン・モンソン ―北欧の笛の魔術師―」
自由　一般500円、WMT会員価格400円、中学生以下無料

12月11日㈰　14:00～　グランドホール
OEK♪ひこね　Cool Japan Concert　episode.3
「池辺晋一郎の ビートルズ・オン・バロック」
指定　一般4,000円、OEK会員価格3,400円、SP価格2,000円
【9月4日㈰チケット発売】

※SP価格…スチューデント・パスポート価格（登録無料の学生会員価格）
※WMT会員価格…ワールド・ミュージック・トリップ会員価格
※OEK会員価格…OEKサポーターズクラブ会員価格

チケットのお申し込み、お問い合わせは
チケットセンター　☎27-5200（9:00～19:00）
インターネットでも購入いただけます。http://bunpla.jp/

彦根城博物館

☎22-6100　FAX 22-6520
9月の休館日はありません。
※9月1日㈭、9月27日㈫～同29日㈭は展示替えのため、展示室を一部閉室しています。

開館時間　8:30～17:00（入館は16:30まで）

テーマ展

9月2日㈮～同27日㈫
戦国 巻の5「肥田の古墳・城・村 ―大地に刻まれた記憶―」
市内の南部に位置する肥田町。鳥形の木製埴輪（はにわ）が出土した古墳から、戦国時代に重要軍事拠点となった肥田城、そして廃城後に村となった江戸時代の様子まで、肥田の歴史をふりかえります。

▲高野瀬隆重画像【崇徳寺蔵】

◀肥田城跡出土 渡来銭【崇徳寺蔵】

観覧料が必要です
ギャラリートーク
「肥田の古墳・城・村―大地に刻まれた記憶―」
9月3日㈯　14:00～15:00
解説:彦根城博物館学芸員および文化財課学芸員
※事前申し込みは不要です。なお、今回のギャラリートークから直接展示室1にお集まりください。

常設展の名品

ほんもの との出会い
― 常設展示の名品―
常設展示「"ほんもの"との出会い」では、譜代大名筆頭・井伊家に伝来した名宝を中心に80点あまりを展示しています。

～10月24日㈪
湖東焼　赤絵金彩羅漢雲鶴文茶碗
白磁に赤絵金彩で、胴の内側に羅漢、外側に雲と鶴を描いた茶碗。12代直亮の時に迎えられた絵付師・幸斎による作で、細密な筆使いが映える優品です。